



奈良県安全法指導赤十字奉仕団委員長

井田 一博 さん

◆赤十字に関わったきっかけ◆

当時勤務していた広島県の島で、水泳の指導をしていました。そこでは、海が近くにあるのに、プールでしか泳げない子どもが多くいました。自然での体験が少ないことから水への恐怖心、事故保全、事故防止が必要と感じ、日赤の水上安全法の指導員資格を取得しました。また、その年から献血の重要性を認識し、機会があれば献血にも参加しました。

指導員資格を習得して早50年以上となります。ボランティア活動は「人の役に立つ。」ということが実感でき、その経験は人生での成長に繋がると思い、奉仕団の活動を続けています。



♥講習時でのエピソードなど♥

小学校にて親子の着衣水泳講習を実施した際、講習が中盤になったとき、参加されていた親御さんの方が子どもさんより体力や泳力が落ちていき、水を飲む人、脚が攣る人が多くいました。参加者からは事故発生時、自身の危機や対応の困難さを実感したと感想をいただき、私自身も講習の重要性を再認識しました。

また、別の小学校で子ども対象の着衣水泳講習（一次救命処置を含む）を実施した際、学校の体育主任の方が講習を見学されており、講習後に「『perfect』、今までの講習より『best』の内容で子どもも大変理解していた。」と、お褒めの言葉をいただきました。その時のモチベーションを維持し、現在も講習を実施しています。



★活動内容など★

昭和52年10月19日に結成され、80名以上の老若男女の団員で活動しています。

年間を通じて県内の企業、団体、学校、県内イベント等にて、救急法¹、水上安全法²、幼児安全法、健康生活支援講習（「¹一次救命処置（AEDの操作方法等）、²水中での自己保全、日常生活での自己防止及び応急処置等々」）を実施しています。健康で安全に暮らすための知識と技術を伝える講習の普及活動に取り組んでいます。



■意気込み!!■

volunteer（奉仕）は「やってあげている」のか「やらせてもらっている」のか。私個人としては、今できることに全力を注ぎ、「人」「場所」が必要とすれば率先して活動に従事できるよう、自己啓発と「知識・体力・技術」の維持向上に努め、今後も自問自答しながら精進していきたいと思います！